

■コメント

1. 咽頭結膜熱

定点当たり 2.38人と、3週続けて増加しています。咽頭結膜熱は、発熱・咽頭炎(のどの痛み)・結膜炎が主な症状で、プールでの感染も多くみられることから「プール熱」とも呼ばれています。手洗い・うがいの励行など、感染予防を心がけましょう(次頁参照)。

2. 手足口病

定点当たり 3.33人と、増加しています。手足口病は、手のひら、足の裏、口の中の粘膜などに水疱性の発しんができるウイルス性の疾患です。幼児を中心に主に夏に流行がみられることから、今後の動向に注意が必要です(次頁参照)。

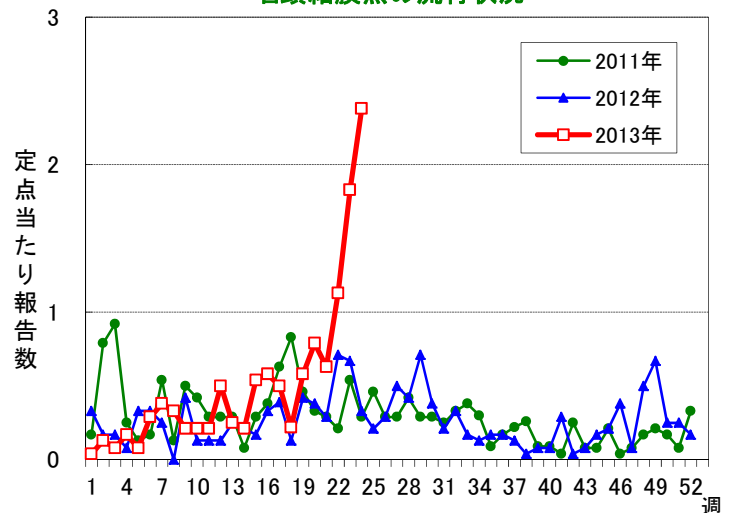
3. 流行性角結膜炎

定点当たり 2.38人と、例年と比較して多い状態が続いています。

4. 風しん

4件の報告があり、今年の累計は23件となりました。

咽頭結膜熱の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
インフルエンザ	-	-	0.04		ヘルパンギーナ	12	0.50	0.99	
咽頭結膜熱	57	2.38	0.57		流行性耳下腺炎	13	0.54	0.73	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	37	1.54	1.94		RSウイルス感染症	2	0.08	0.03	
感染性胃腸炎	152	6.33	5.28		急性出血性結膜炎	-	-	0.08	
水痘	32	1.33	1.68		流行性角結膜炎	19	2.38	1.15	
手足口病	80	3.33	2.07		細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	1	0.04	0.50		無菌性髄膜炎	1	0.14	-	
突発性発しん	9	0.38	0.84		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.29	
百日咳	-	-	0.24		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	77	男性(60歳代)・1人、女性(70歳代)・1人
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	2	女性(10歳未満)・O165
4	A型肝炎	1	5	女性(40歳代)
5	後天性免疫不全症候群	2	14	男性(30歳代)・感染者、男性(60歳代)・エイズ
5	風しん	4	23	男性(10歳代)・1人、男性(30歳代)・2人、女性(30歳代)・1人

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフル エンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎
報告数	第20週	28	19	29	274	26	43	-	12	1	-	11	7	-	3	-	1	-	-
	第21週	13	15	39	219	29	46	-	17	-	3	5	7	-	8	-	-	-	-
	第22週	13	27	44	185	29	49	1	13	-	5	7	4	-	17	-	1	1	-
	第23週	1	44	36	157	29	44	-	14	-	10	7	4	-	17	-	1	-	-
定点当たり	第24週	-	57	37	152	32	80	1	9	-	12	13	2	-	19	-	1	1	-
	第20週	0.76	0.79	1.21	11.42	1.08	1.79	-	0.50	0.04	-	0.46	0.29	-	0.38	-	0.14	-	-
	第21週	0.35	0.63	1.63	9.13	1.21	1.92	-	0.71	-	0.13	0.21	0.29	-	1.00	-	-	-	-
	第22週	0.35	1.13	1.83	7.71	1.21	2.04	0.04	0.54	-	0.21	0.29	0.17	-	2.13	-	0.14	0.14	-
全国	第23週	0.03	1.83	1.50	6.54	1.21	1.83	-	0.58	-	0.42	0.29	0.17	-	2.13	-	0.14	-	-
	第24週	-	2.38	1.54	6.33	1.33	3.33	0.04	0.38	-	0.50	0.54	0.08	-	2.38	-	0.14	0.14	-
全国	第22週	0.70	0.70	2.29	6.83	1.54	0.70	0.08	0.72	0.01	0.17	0.31	0.12	0.04	0.69	0.02	0.02	0.51	0.03
	第23週	0.43	0.70	2.15	5.99	1.30	0.99	0.08	0.65	0.01	0.30	0.30	0.12	0.03	0.69	0.01	0.04	0.54	0.03

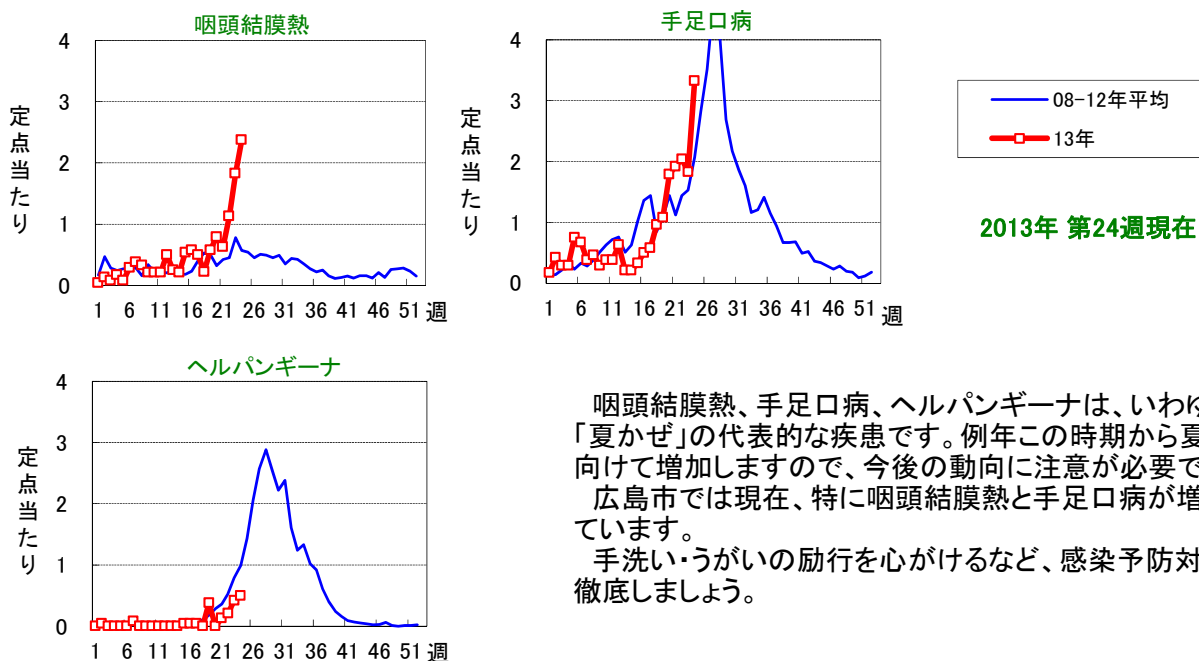
■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	下痢 意識障害 ショック症状	1	男	2013/04/22	糞便	A群ロタウイルス
川崎病	発熱(38.0) 上気道炎	2	男	2013/05/06	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】夏季に流行する感染症の動向(広島市)



咽頭結膜熱、手足口病、ヘルパンギーナは、いわゆる「夏かぜ」の代表的な疾患です。例年この時期から夏季に向けて増加しますので、今後の動向に注意が必要です。広島市では現在、特に咽頭結膜熱と手足口病が増加しています。手洗い・うがいの励行を心がけるなど、感染予防対策を徹底しましょう。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2013年第24週(6月10日～6月16日)